

特集展示

へいわほん 平和の本

目録 2006年版

平和月間 2006年7月15日(土)～2006年8月16日(水)

展示テーマ「戦争遺跡を訪ねる」

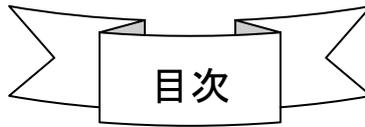
平塚市中央図書館

平塚市北図書館



平塚市西図書館

平塚市南図書館



この冊子について	2ページ
戦争遺跡の本	3ページ
戦争遺跡マップ	10ページ
日本の戦争遺跡	12ページ
神奈川県 of 戦争遺跡	14ページ
平塚市の戦争遺跡	16ページ
平和の本 図書一覧	
一般図書	18ページ
児童図書	31ページ
参考図書	35ページ

〈この冊子について〉

1. この目録は平塚市図書館(中央・北・西・南)で所蔵する平和に関する資料で、平成17年6月1日～平成18年5月31日の期間に収集したものを対象としています。それ以前の資料については、「平和の本」2003年累積版および、「平和の本」2004年版、「平和の本」2005年版をご覧ください。
2. 資料の内容は以下の4区分に分けてあります。
 - 平和……………主に平和に関する内容のもの
 - 核……………主に核に関する内容のもの
 - 戦争……………主に戦争に関する内容のもの
 - その他……………上記以外のもの
3. 戦争遺跡の本 について
所蔵の表示は、それぞれ中央館が中央図書館2階貸出室、北館が北図書館、西館が西図書館、南館が南図書館となります。
それぞれの本は所蔵館名の表示されている図書館にあります。
〈例〉 所蔵:中央館・南館 と表示のある本は中央図書館と南図書館にある本のことです。
なお、館名に(児)の表示がある本は 中央図書館こどもしつにある本、または児童図書です。
4. 戦争遺跡マップについては11ページの〈戦争遺跡マップについて〉をご覧ください。

戦争遺跡の本

『神奈川県戦争遺跡』

神奈川県歴史教育者協議会／編 1996年 大月書店



本書は、神奈川県内の戦争遺跡とそれに関わる様々なエピソードを紹介しています。横浜空襲に関する場所や登戸研究所だけでなく、米軍の本土上陸作戦予定地であった茅ヶ崎海岸、進駐軍と日本人との子供を受け入れたエリザベスサンダースホームなど幅広く紹介しています。

その他に、県内戦争遺跡の地図や戦争遺跡を訪ねる際のモデルコースも紹介されており、読むだけでなく体験するためにも役立つ本になっています。

ISBN: 4272520458 所蔵: 中央館・北館・西館・南館

『しらべる戦争遺跡の事典』

十菱駿武・菊池実／編 2002年 柏書房

本書は、戦争遺跡はもちろん、戦争遺跡の調査、保存、学習の方法などまで紹介しています。また、史料所蔵機関の紹介などもあり、かなり専門的な調査にも用いることができる事典です。

さらに、本書が刊行された翌年には『続しらべる戦争遺跡の事典』が発行されており、こちらは、行政や軍事など様々な視点から見た戦争遺跡や、歴史学習などに役立つような地域ごとの戦争遺跡を紹介しています。この2冊を合わせて読むことで戦争遺跡については、広く深く知ることができます。

ISBN: 4760122168 所蔵: 中央館



『英語で発するヒロシマ・メッセージ』 増田一也／編著 2005年 三五館



本書は、ヒロシマを訪れた世界中の識者達のメッセージを、和文・英文の対訳で掲載しています。英訳を載せたことから、より多くの人にこのメッセージを受け取ってもらいたいという作者の意向がうかがえます。英語を学びながら、ヒロシマで起きた悲劇と、その後の人類の決意に改めて想いを巡らせてみてはいかがでしょうか。カラーで掲載されている被爆者自身の筆による絵画も、凄惨さを伝えています。

あなたなら、この本を読んで、どんなメッセージを思い浮かべますか。

ISBN:4883203298 所蔵:中央館・南館

『原爆ドームの祈り』 長谷川敬／著 1995年 講談社

広島原爆ドームと呼ばれる建物が、被爆前どのような姿をしていたかご存知でしょうか。この本の表紙にその姿があります。本書では建てられた当初の広島、原爆投下直後の広島、そして平和への道を歩む今の広島を見つめ続けた原爆ドーム(正式名称:広島県産業奨励館)が語り部となり、その歴史を半自伝的に語っていきます。平和の尊さを伝え続ける原爆ドームの祈りを、ぜひ聞き取ってください。

ISBN:406207656X 所蔵:中央館(児)・北館(児)・西館(児)



『日本の戦争遺跡』 戦争遺跡保存全国ネットワーク／編著 2004年 平凡社



日本の戦争遺跡のうち代表的なもの約130件を、北海道から沖縄まで順に紹介している本です。この中には平塚海軍火薬廠についても掲載されています。平塚のどこにどれだけの規模でこの施設があったかというのは、知らない方もいらっしゃるのではないのでしょうか。この本を読むと平塚が焼け野原になった理由がよくわかります。

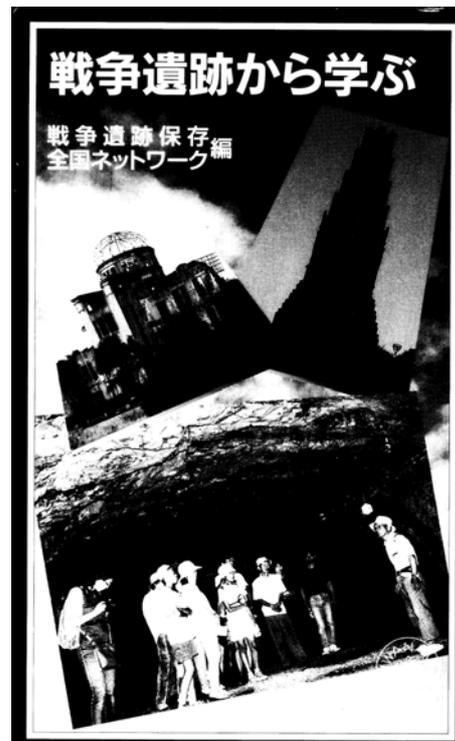
他にもたくさんの戦争遺跡について書かれています。日本で戦争があったという記憶が薄れていく中、この本を手に取り日本をめぐるのも良いかもしれません。

ISBN: 4582852408 所蔵: 中央館・西館

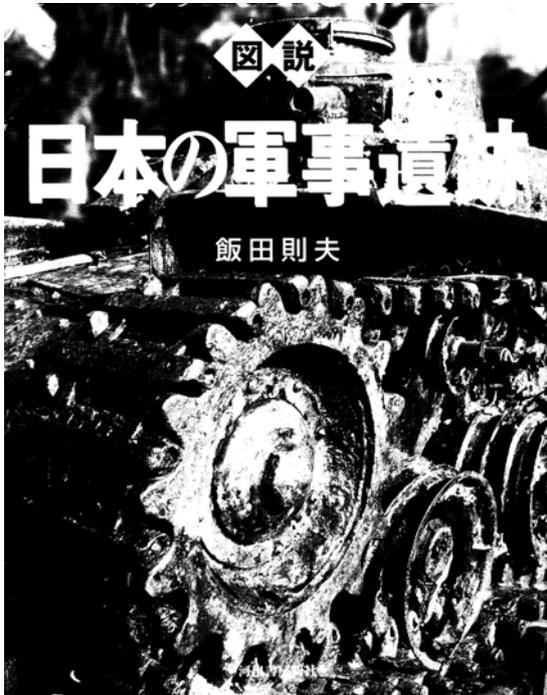
『戦争遺跡から学ぶ』 戦争遺跡保存全国ネットワーク／編 2003年 岩波書店

最近よく、現代人は想像力を働かせるということが難しくなっていると聞きます。この本を読んで戦時中の悲しみを静かに想像してみたいかがでしょうか。「戦争を知らないから」と、目を背けてはならないこともたくさんあります。本書では戦争遺跡がテーマごとに取り上げてあり、空襲による犠牲者数の都道府県別一覧も載っています。この本を読み、戦争遺跡で感じ、学んでみてください。また巻末には、戦争用語や参考図書一覧など役に立つものが掲載され、活用しやすいガイドブックになっています。

ISBN: 4005004369 所蔵: 中央館・中央館(児)



『図説 日本の軍事遺跡』 飯田則夫／著 2004年 河出書房新社



本書に掲載された多くの写真は、著者自らが全国をまわり撮影したものです。それらとともに歴史なども交え、わかりやすく軍事遺跡を解説しています。

「戦争という負の先入観にとらわれることなく、これらの遺跡を近代遺跡の一部として保存して行ってほしい——。」

このような著者の願いがこもった本書は、未来への貴重な資料として軍事遺跡に接することができるガイドブックとも呼べる一冊です。

ISBN: 4309760481 所蔵: 中央館・西館・南館

『台湾少年工と第二の故郷—高座海軍工廠に結ばれた絆は今も—』

野口毅／編著 1999年 展転社

昭和18年(1943年)、現在の大和市に戦闘機製作のため、高座海軍工廠は建てられました。そこでは約8400人の台湾少年工が働いており、労働者の8割を占めていたそうです。厳しく辛い日々を過ごしたはずの日本を彼らは親しみをこめて「第二の故郷」と呼びます。高座海軍工廠での生活や戦後60年を経て今なお続く交流について、編者をはじめ平塚市出身の早川さん含む4名が語っています。日本人が忘れかけている人と人とのつながりがここにあります。

ISBN: 4886561683 所蔵: 北館・西館・南館



野口毅
編著

台湾少年工と
第二の故郷
高座海軍工廠に結ばれた絆は今も



『戦跡を歩く』 牧野弘道／著 2002年 集英社



太平洋戦争の激戦の舞台となったサイパン島、レイテ島、ルソン島、沖縄などに赴き、戦いの真相を探った旅の記録です。著者は、それまで訪れることのできなかった父が戦死した場所も訪れ、父の在りし日を偲んでいます。

本書は4年間産経新聞で連載され、好評を博した『あの戦争』の続編となっています。前連載も『あの戦争 太平洋戦争全記録』（上・中・下）としてまとめられ、中央図書館で所蔵しています。

ISBN:4834250725 所蔵:中央館・西館

『平塚の戦争遺跡』 土井浩／編 2001年 平塚市博物館

海軍火薬廠をはじめとした軍需工場が集まり、県下有数の工業都市として栄えた平塚市は、それゆえに昭和20年(1945年)7月16日、「平塚大空襲」と呼ばれる大規模な攻撃を受け焦土と化しました。その影は60年以上経った現在でもその一部を見ることができます。

平塚市博物館が編集した本書はそれら平塚に残された戦争遺跡を紹介した資料で、わたしたちの身近なところでも戦争の痕跡が残されていることを教えてくれます。

資料ID:005396691 ほか 所蔵:中央館・西館・南館



『陸軍登戸研究所の真実』 伴繁雄／著 2001年 芙蓉書房出版



陸軍登戸研究所、それは軍の関係者でも存在を知る者は少なかったとされる極秘研究所で、その秘密主義のもと特殊インキや偽札、枯葉剤といった秘密戦兵器の実用化を目指し研究していたそうです。

その元所員であった著者が研究所の成り立ちや研究内容について詳しく述べた本書は、戦争のあまり知られていない一面を知ることができる資料であると言えます。また、当時の施設の一部は明治大学生田校舎内に現在も残されています。

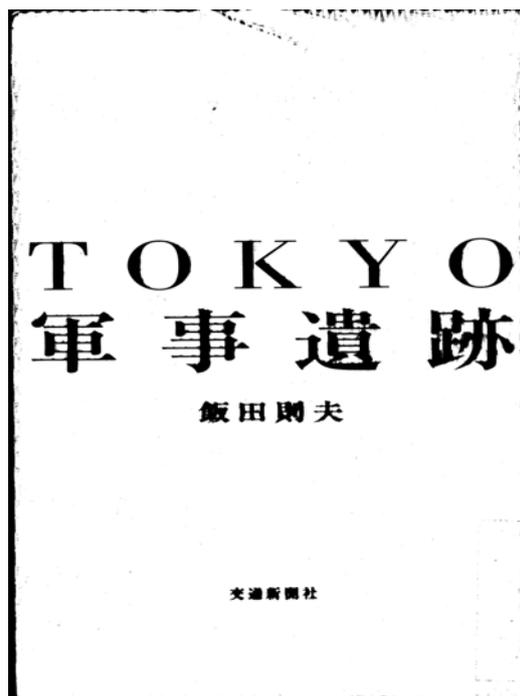
ISBN: 4829502754 所蔵: 中央館・南館

『TOKYO軍事遺跡』 飯田則夫／著 2005年 交通新聞社

本書は東京をはじめ神奈川、千葉、埼玉、栃木、茨城にある軍事遺跡の現代の写真を中心に所在地データ付きで解説したもので、その写真からは何か訴えかけられているようにも感じます。その写真の印象は戦争を経験した人だけでなく戦争を知らない現代の人々にも、それぞれに何かを伝えてくれるはずです。

この機会に戦争遺跡というものの存在を写真だけでなく実際に見ることで、新たな発見があるかもしれません。

ISBN: 4330834057 所蔵: 中央館



戦争遺跡マップ

<戦争遺跡マップについて>

1. このマップは下記の参考資料に基づいて作成しておりますので、戦争遺跡の状態が現在と異なる場合も考えられますが、その際は何卒ご容赦ください。
2. 各マップとも左の地図の番号は、右ページの番号と対応しております。
3. 戦争遺跡によっては、民地や事業所の敷地内にあるもの、申し込みが必要なもの、時期によっては一般開放されていないものなどがありますので、見学の際には事前にご確認ください。
4. マップ内の戦争遺跡は代表的なものを中心に取り上げています。より詳しい情報は下記の参考資料をご覧ください。

[参考資料]

日本の戦争遺跡

- ・『日本の戦争遺跡』 戦争遺跡保存全国ネットワーク／編著 2004年 平凡社
- ・『戦争遺跡から学ぶ』 戦争遺跡保存全国ネットワーク／編 2003年 岩波書店
- ・『しらべる戦争遺跡の事典』 十菱駿武・菊池実／編 2002年 柏書房

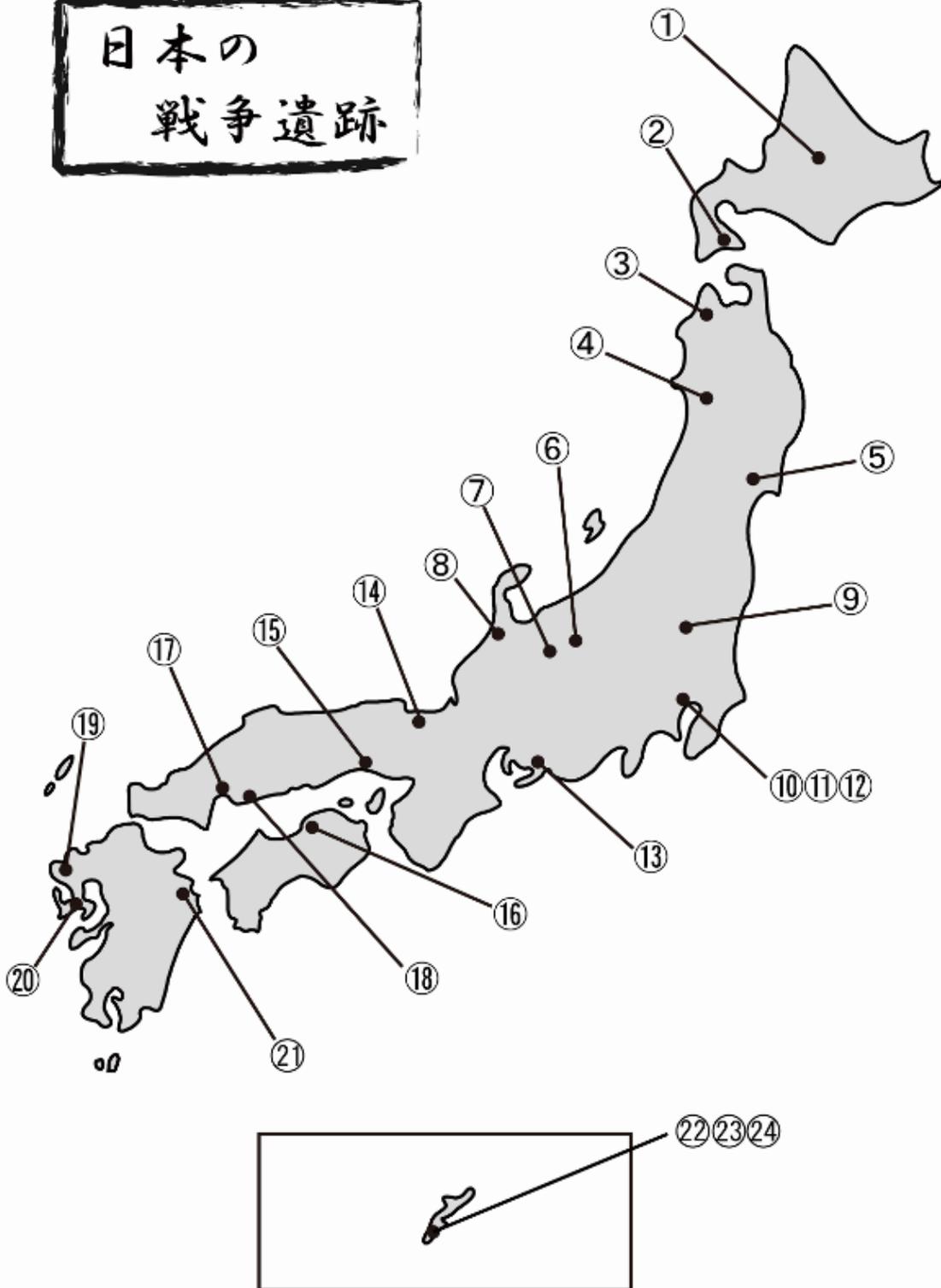
神奈川県 of 戦争遺跡

- ・『日本の戦争遺跡』 戦争遺跡保存全国ネットワーク／編著 2004年 平凡社
- ・『神奈川県の戦争遺跡』 神奈川県歴史教育者協議会／編 1996年 大月書店

平塚市の戦争遺跡

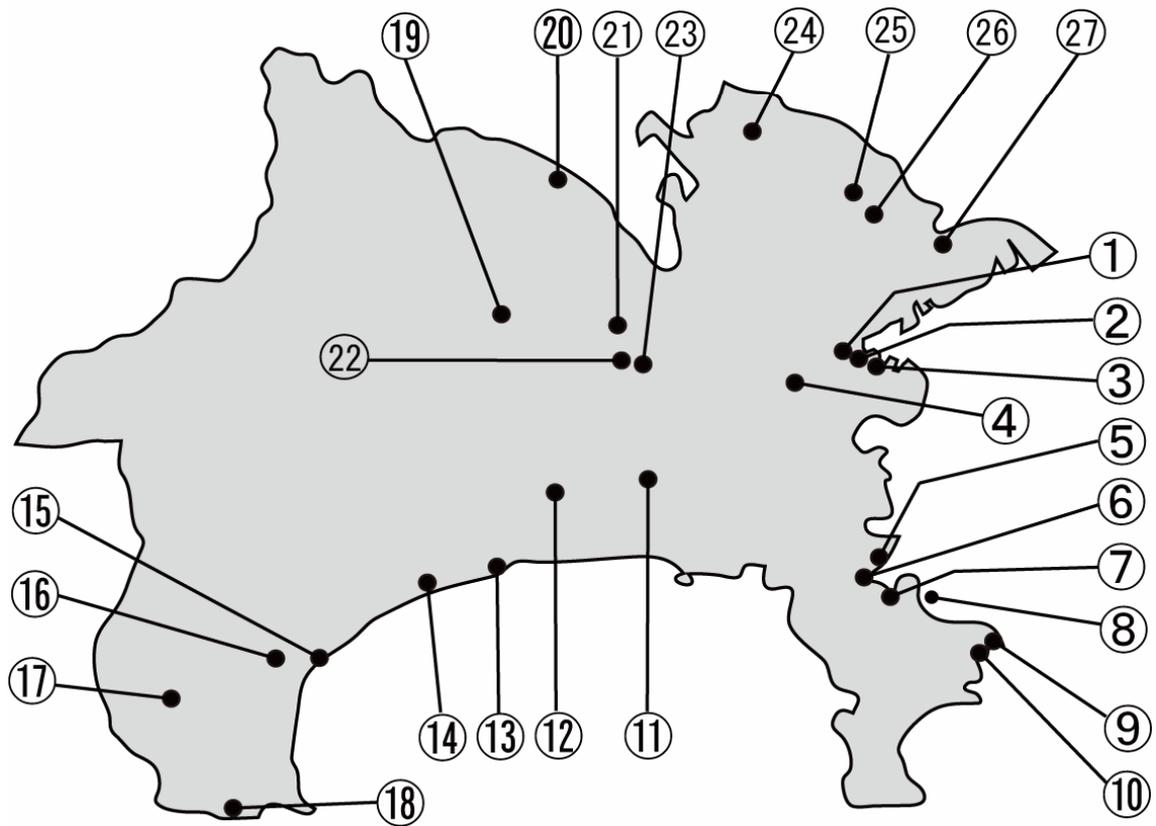
- ・『平塚の戦争遺跡』 土井浩／編 2001年 平塚市博物館

日本の 戦争遺跡



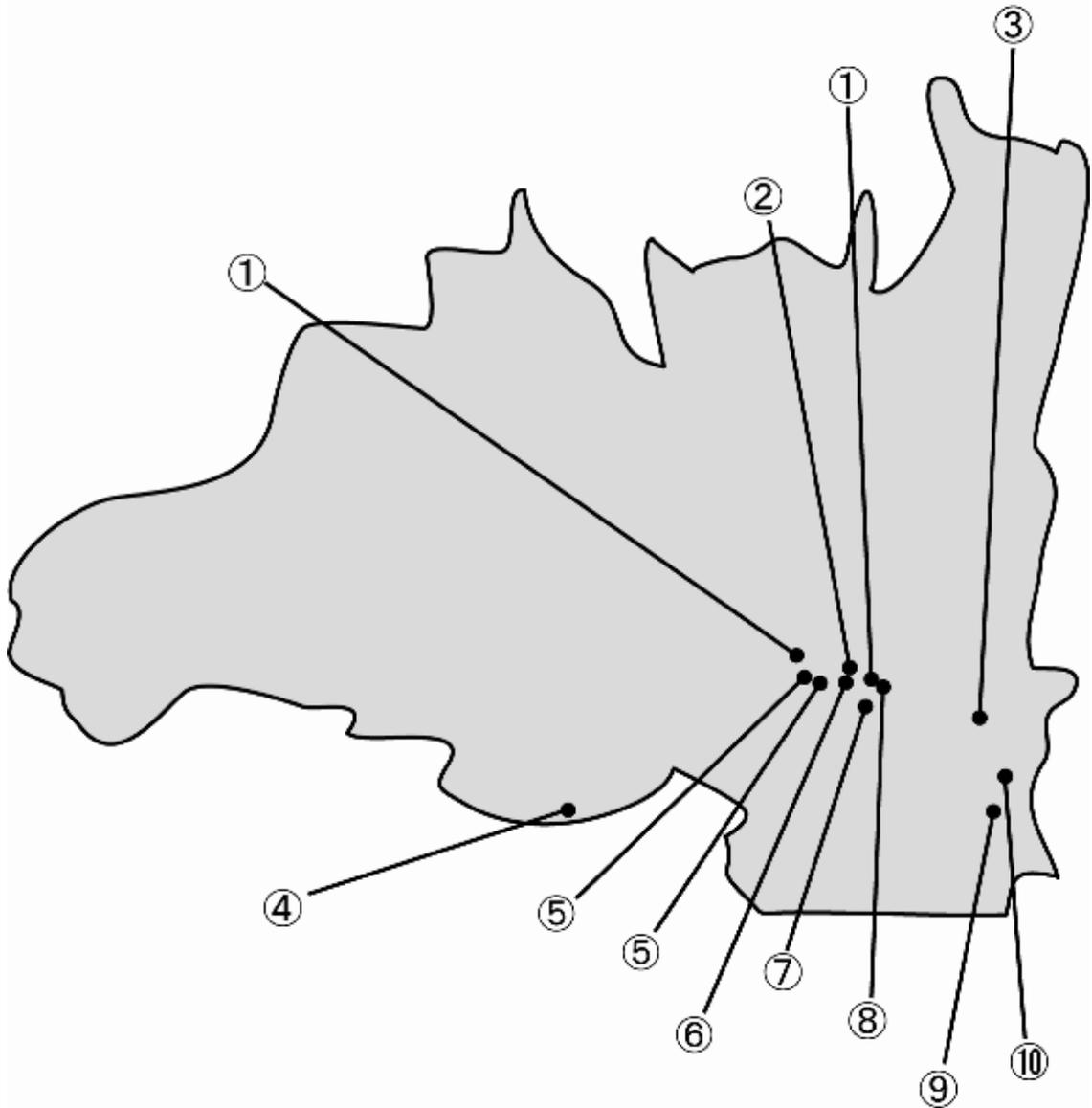
- ①旭川第七師団借行社(北海道旭川市)
国指定重要文化財 現:旭川市彫刻美術館
- ②函館要塞(北海道函館市) 北海道遺産 現:函館山緑地
- ③弘前第八師団跡(青森県弘前市)
借行社 国指定重要文化財 現:弘前女子厚生学院記念館
師団長官舎 国指定登録有形文化財 現:弘前市長公舎
- ④花岡鋳山(秋田県大館市花岡町)
- ⑤仙台第二師団跡(宮城県仙台市) 兵舎は現:仙台市歴史民俗資料館
- ⑥松代大本營地下壕(長野県長野市松代町)
- ⑦松本連隊(長野県松本市旭) 現:信州大学赤レンガ館
- ⑧金沢第九師団跡(石川県金沢市)
司令部庁舎・借行社 国指定登録有形文化財 現:石川県ふれあい公社
兵器庫 国指定重要文化財 現:石川県立歴史博物館
- ⑨八幡山地下司令部跡(栃木県宇都宮市)
- ⑩近衛師団司令部(東京都千代田区)
国指定重要文化財 現:国立近代美術館工芸館
- ⑪軍人会館(東京都千代田区) 現:九段会館
- ⑫東部軍管区司令部・連合軍総司令部(東京都千代田区) 現:第一生命ビル
- ⑬豊橋第十五師団司令部跡(愛知県豊橋市)
国指定登録有形文化財 現:愛知大学公舎
- ⑭舞鶴赤煉瓦ホフマン窯(京都府舞鶴市) 国指定登録有形文化財
- ⑮姫路第十師団兵器庫・被服庫(兵庫県姫路市)
国指定登録有形文化財 現:姫路市美術館
- ⑯陸軍第十一師団借行社(香川県善通寺市)
国指定重要文化財 現:市郷土資料館
- ⑰原爆ドーム(広島県広島市) 世界文化遺産
- ⑱呉鎮守府司令長官官舎(広島県呉市)
国指定重要文化財 現:入船山記念館内
- ⑲佐世保鎮守府(長崎県佐世保市)
- ⑳長崎原爆遺跡(長崎県長崎市)
- ㉑佐伯海軍航空隊掩体壕(大分県佐伯市) 国指定登録有形文化財
- ㉒ひめゆりの塔(沖縄県糸満市)
- ㉓平和祈念公園(沖縄県糸満市)
- ㉔摩文仁の丘(沖縄県糸満市) 沖縄戦終焉の地

神奈川県
戦争遺跡



- ①京浜急行平沼駅跡(横浜市) 京急横浜駅一戸部駅間の廃墟
- ②横浜税関(横浜市)
- ③病院船氷川丸(横浜市)
- ④英連邦戦死者墓地(横浜市)
- ⑤予科練誕生の地碑(横須賀市)
- ⑥横須賀海軍工廠跡(横須賀市)
- ⑦横須賀鎮守府跡(横須賀市) 現:横須賀米軍基地
- ⑧猿島(横須賀市新港から猿島行き観光船あり)
- ⑨戦没船員の碑(横須賀市)
- ⑩観音崎要塞跡(横須賀市)
- ⑪藤沢海軍航空隊基地跡(藤沢市) 現:県立体育センター
- ⑫相模海軍工廠跡(寒川町)
- ⑬エリザベスサンダースホーム(中郡大磯町) 現:聖ステパノ学園
- ⑭ガラスのうさぎ像(JR二宮駅前)
- ⑮小田原空襲の碑(小田原市)
- ⑯傷兵院・傷痍軍人箱根療養所(小田原市) 現:国立療養所箱根病院
- ⑰芦ノ湯ドイツ水兵の墓(箱根町)
- ⑱湯河原頌徳社(湯河原町 五所神社内)
- ⑲平塚海軍火薬廠の疎開地(厚木市)
- ⑳相模陸軍造兵廠跡(相模原市) 現:在日米陸軍相模補給廠
- ㉑高座海軍工廠跡(座間市)
- ㉒弾除観音(綾瀬市 報恩寺内)
- ㉓海軍厚木飛行場跡(綾瀬市) 現:海上自衛隊厚木航空基地・
在日米軍厚木航空基地
- ㉔登戸研究所(川崎市) 現:明治大学生田校舎
- ㉕通信隊蟹ヶ谷分遣隊(川崎市)
- ㉖日吉台地下壕(横浜市) 現:慶応義塾大学日吉キャンパス
- ㉗川崎市役所本庁舎(川崎市)

平塚市の
戦争遺跡



- ① ユリの古木(浅間町) 現: 博物館付近
 (追分) 現: 平塚共済病院駐車場内
 昭和 15 年、皇紀 2600 年を記念して火薬廠内に植樹されたといわれている。
- ② 横須賀水交社平塚集会所(追分) 現: 横浜ゴム平塚製造所記念館
 日本海軍の将校クラブとして使用されていたもの。(移築予定)
- ③ 犠牲動物慰霊塔(榎木町) 現: 蓮光寺墓地内
 海軍技術研究所科学研究部で飼育されていた、実験小動物の霊を慰めるため研究所平塚出張所有志により建立されたもの。
- ④ 砲座跡のある千畳敷(万田) 現: 湘南平
 市内の工場群を防御するため設置された高射砲座などの跡。大磯国民学校や平塚高等女学校の生徒による勤労奉仕で作られた。
- ⑤ 焼け残った電柱(追分) 現: 横浜ゴム付近
 旧海軍火薬廠敷地内、焼け焦げた跡の残る2本の木製の電柱。
- ⑥ 海軍火薬廠内防空壕(追分) 現: 横浜ゴム内
 奉安殿に安置されていた天皇・皇后の「御真影」を守るために設置されたとみられる。
- ⑦ 平和の慰霊塔(浅間町) 現: 八幡山公園内
 明治以来の戦争犠牲者の霊名簿と千羽鶴2組が納められる。高さ22メートル。
 また、同八幡山公園の一角には平塚市の戦災復興事業の完工を記念した記念碑も建てられている。
- ⑧ 海軍火薬廠引き込み線(浅間町) 現: 文化センター公園通り
 火薬原料の搬入や製品の搬出などのため敷設された。現平塚市役所新館前を抜け、相模川へ続いていた。
- ⑨ 焼けた墓石(札場町) 現: 乗蓮寺境内
 平塚大空襲時の焼夷弾により一部が大きく破損したものが残されている。
- ⑩ 横須賀海軍工廠平塚分工場・慰霊乃碑(久領堤) 現: 三興製鋼内
 横須賀海軍工廠平塚分工場に投下された爆弾の不発弾、あるいは時限装置付爆弾を処理していた工員が突然の暴発に巻き込まれた。その犠牲となった工員8人の殉職を悼み建立されたもの。

平和の本(一般図書)

一般図書 平和

著者表示

タイトル

出版者

出版年

館名

英語で発するヒロシマ・メッセージ

増田一也編著

三五館
2005 中央館
南館

オキナワを平和学する！

石原昌家(他)編
比屋根照夫(他)著

法律文化社
2005 中央館

沖縄のいまガイドブック(岩波ジュニア新書 254)

照屋林賢(他)著

岩波書店
1995 中央館
北館
南館

軍縮問題入門 新版

黒沢満編著

東信堂
2005 中央館

警鐘―世界から戦争をなくすために―

竹内静雄著

早稲田出版
2005 中央館

憲法「私」論

水島朝穂著

小学館
2006 中央館

―みんなで考える前にひとりひとり考えよう―

21世紀の平和学 第2版

吉田康彦編著
岡本三夫(他)著

明石書店
2005 中央館

―人文・社会・自然科学・文学からのアプローチ―

平和学は訴える―平和を望むなら平和に備えよ―

岡本三夫著

法律文化社
2005 中央館

平和研究講義(岩波テキストボックス)

高島通敏著
五十嵐暁郎編 佐々木寛編

岩波書店
2005 中央館

一般図書 戦争

著者表示

タイトル

出版年

館名

あゝ零戦一代 新装版

横山保著

―零戦隊空戦始末記―(光人社ノンフィクション文庫 40)

出版者

出版年

館名

光人社

2005 北館

アジア太平洋戦争の意義 — 日米関係の基盤はいかにして成り立ったか —	杉田米行(他)編著	三和書籍	2005 中央館
あるジャーナリストの敗戦日記 — 1945～1946 —	森正蔵著 有山輝雄編	ゆまに書房	2005 中央館
岩波講座アジア・太平洋戦争 1 (岩波講座アジア太平洋戦争 第1巻)	倉沢愛子(他)編	岩波書店	2005 中央館
大空の決戦 — 零戦撃墜王青春記 —	坂井三郎著	光人社	2005 中央館
沖縄基地とイラク戦争 — 米軍ヘリ墜落事故の深層 — (岩波ブックレット NO. 646)	伊波洋一著 永井浩著	岩波書店	2005 中央館
沖縄決戦 — 太平洋戦争最後の激戦と沖縄県民の戦い — (歴史群像 太平洋戦史シリーズ Vol. 49)	学習研究社	学習研究社	2005 中央館
80 沖縄「戦後」ゼロ年(生活人新書 150)	目取真俊著	日本放送出版協会	2005 中央館 西館
ガダルカナル — 太平洋戦跡紀行 —	西村誠著 湯原浩司写真	光人社	2005 中央館
艦長たちの軍艦史	外山操著	光人社	2005 中央館 西館
巨大戦艦大和はなぜ沈んだのか — 大和撃沈に潜む戦略なき日本の弱点 — (日本文芸社パンドラ新書 30)	中見利男著	日本文芸社	2005 中央館 西館
近代日本の戦争 — 20世紀の歴史を知るために — (岩波ジュニア新書 305)	色川大吉著	岩波書店	1998 中央館 北館 西館 南館

近代日本の戦争遺跡―戦跡考古学の調査と研究―	菊池実著	青木書店	2005 中央館
空母ミッドウェイ―アメリカ海軍下士官の航海記―	ジロミ・スミス著	光人社	2006 中央館
検証大東亜戦争史 上巻 ―天保11年～昭和27年―1(検証大東亜戦争史)	狩野信行著	芙蓉書房出版	2005 中央館
検証大東亜戦争史 下巻 ―天保11年～昭和27年―3(検証大東亜戦争史)	狩野信行著	芙蓉書房出版	2005 中央館
検証日露戦争	読売新聞取材班著	中央公論新社	2005 中央館
国際スパイゾルゲの真実(角川文庫 3-1)	NHK取材班著 下斗米伸夫著	角川書店	1995 中央館 西館
最終決戦兵器「秋水」設計者の回想 ―未発表資料により解明する究極のメカニズム―	牧野育雄著	光人社	2006 中央館
市民が探る平塚空襲 証言編	平塚の空襲と戦災を記録する会編	平塚市博物館	1998 中央館 北館 西館
市民が探る平塚空襲 資料編(二)	平塚の空襲と戦災を記録する会編	平塚市博物館	2004 中央館 西館 南館
写説「坂の上の雲」を行く一時を超え、よみがえる―	太平洋戦争研究会著	ビジネス社	2005 中央館 北館
写説太平洋戦争	太平洋戦争研究会編著	ビジネス社	2005 中央館
少女のころ戦争がありました	角田瑶子著	碧天舎	2005 北館

少女の見た太平洋戦争—昭和15年から19年の少女日記—	川端富美子著	新風舎	2005 中央館
史料が語る太平洋戦争下の放送	竹山昭子著	世界思想社教学社	2005 中央館 西館
侵略と抵抗—平和のための戦争犯罪論—	前田朗著	青木書店	2005 中央館
図説太平洋戦争 増補改訂版(ふくろうの本)	池田清編 太平洋戦争研究会著	河出書房新社	2005 中央館 北館 南館
図説太平洋戦争16の大決戦(ふくろうの本)	太平洋戦争研究会編 森山康平著	河出書房新社	2005 中央館 西館
図説帝国海軍特殊潜航艇全史	奥本剛著	学習研究社	2005 中央館
戦艦ミズーリに突入した零戦	可知晃著	光人社	2005 中央館
戦艦「大和」永遠なれ！—写真集(空前絶後・永久保存版)—	原勝洋編著	ベストセラーズ	2005 中央館 西館
戦艦大和最後の乗組員の遺言	八杉康夫著	ワック	2005 中央館 西館
「戦艦大和」と戦後—吉田満文集—(ちくま学芸文庫 310-1)	吉田満著 保阪正康編	筑摩書房	2005 中央館
「戦艦大和」日記 第1巻 1(早川暁コレクション 1)	早坂暁著	勉誠出版	2006 中央館
「戦艦大和」日記 第2巻 2(早川暁コレクション 2)	早坂暁著	勉誠出版	2006 中央館
戦艦大和の真実(WAC BUNKO 35)	日下公人著 三野正洋著	ワック	2005 中央館 北館
戦艦大和のすべて —歴史的資料とオリジナル写真により全貌が蘇る—	原勝洋著	インデックス・コミュニケーションズ	2005 中央館

1941年12月8日 —アジア太平洋戦争はなぜ起こったか—(岩波ジュニア新書 198)	江口圭一著	岩波書店	1991 中央館 北館 西館 南館
戦後六十年語り残す戦争体験—私たちの遺書—	二〇〇五年度「新老人の会」編	講談社	2005 中央館
戦時の日常—ある裁判官夫人の日記—	小寺幸生編	博文館新社	2005 中央館
戦陣訓の呪縛—捕虜たちの太平洋戦争—	ウルリック・ストラウス著	中央公論新社	2005 中央館 西館
戦争遺跡が語る太平洋戦争 —現在も残る太平洋戦争の痕跡を訪ねて—(パンドラ新書 031)	太平洋戦争研究会著	日本文芸社	2006 中央館
戦争遺跡から学ぶ(岩波ジュニア新書 436)	戦争遺跡保存全国ネットワーク編	岩波書店	2003 中央館
戦争と沖縄(岩波ジュニア新書 19)	池宮城秀意著	岩波書店	1980 中央館 南館
戦争と平和の「解剖学」	常本一著	東方出版 大阪	2005 中央館
戦争とマスメディア —湾岸戦争における米ジャーナリズムの「敗北」をめぐって— (叢書・現代社会のフロンティア 4)	石澤靖治著	ミネルヴァ書房	2005 中央館
戦争のなかで考えたこと—ある家族の物語—	日高六郎著	筑摩書房	2005 中央館
戦争のなかの青年(岩波ジュニア新書 103)	大島孝一著	岩波書店	1985 中央館 南館
千人針は語る	森南海子著	海竜社	2005 中央館 西館

占領の記憶 記憶の占領―戦後沖縄・日本とアメリカ―	マイク・モラスキー著 鈴木直子訳	青土社	2006 中央館
大東亜戦争の正体―それはアメリカの侵略戦争だった―	清水馨八郎著	祥伝社	2006 中央館 北館
第二次世界大戦衝撃の秘話39(歴史群像PLUS新書 1)	TAIS著	学習研究社	2005 中央館
太平洋戦争人物列伝	昭和史研究会編	扶桑社	2005 中央館
太平洋戦争新聞―史実と戦時報道を徹底比較―	歴史記者クラブ昭昭和班著	廣済堂出版	2005 中央館 南館
太平洋戦争とは何だったのか 普及版 ―1941～45年の国家、社会、そして極東戦争―	クリストファー・ゾーン著 市川洋一訳	草思社	2005 中央館 西館
台湾・少年航空兵―大空と白色テロの青春記―	黄華昌著	社会評論社	2005 中央館
諜報員たちの戦後―陸軍中野学校の真実―	斎藤充功著	角川書店	2005 中央館 西館
帝国海軍真実の艦艇史 2 (歴史群像 太平洋戦史シリーズ Vol. 51)		学習研究社	2005 中央館
帝国陸海軍の光と影―一つの日本文化論として―	大原康男著	展転社	2005 中央館
TOKYO軍事遺跡	飯田則夫著	交通新聞社	2005 中央館
東京大空襲の記録 写真版(新潮文庫)	早乙女勝元編著	新潮社	1987 西館
特攻 新装版 ―外道の統率と人間の条件―(光人社ノンフィクション文庫 191)	森本忠夫著	光人社	2005 中央館
「特攻」と日本人(講談社現代新書 1797)	保阪正康著	講談社	2005 中央館

特攻の思想－大西瀧治郎伝－	草柳大蔵著	グラフ社	2006 中央館
特攻パイロットを探せ －埋もれた歴史の謎を掘り起こした真実の記録－	平義克己著	扶桑社	2005 中央館 移動図
中井英夫戦中日記彼方より 完全版	中井英夫著 本多正一編	河出書房新社	2005 中央館 南館
日記に見る太平洋戦争 新装版	杉村優著	文芸社	2005 中央館
日本戦車隊戦史－鉄獅子かく戦えり－	上田信著	大日本絵画	2005 中央館
日本占領下のマラヤ－1941－1945－	ポールH. クラトスカ著 今井敬子訳	行人社	2005 中央館
日本の戦跡を見る(岩波ジュニア新書 454)	安島太佳由著	岩波書店	2003 中央館
日本の歴史 8 鹿野政直著. 大日本帝国の時代(岩波ジュニア新書 338)		岩波書店	2000 中央館
日本海海戦から100年 －アルゼンチン海軍観戦武官の証言－	マヌエル・ドメック・ガルシア著 津島勝二訳	鷹書房弓プレス	2005 中央館
敗戦－一九四五年春と夏－	左近允尚敏著	光人社	2005 中央館 西館
ひめゆりの沖繩戦 －少女は嵐のなかを生きた－(岩波ジュニア新書 207)	伊波園子著	岩波書店	1992 中央館 北館 南館
ヒロシマ－進歩と殺戮の20世紀－	林順治著	彩流社	2005 中央館

ヒロシマから問うー平和記念資料館の「対話ノート」ー	「対話ノート」編集委員会編 藤田明史訳 アンソニー・ガイスト訳	かもがわ出版	2005 南館
ファルージャ栄光なき死闘 ーアメリカ軍兵士たちの20カ月ー	ビング・ウエスト著 竹熊誠訳	早川書房	2006 中央館
藤井軍曹の体験ー最前線からの日中戦争ー	伊藤桂一著	光人社	2005 中央館
米国特派員が撮った日露戦争	コリアーズ編 小谷まさ代訳	草思社	2005 中央館 西館
炎の証言 第9号	平塚の空襲と戦災を記録する会編	平塚市博物館	中央館 北館 西館 南館
炎の証言 第10号	平塚の空襲と戦災を記録する会編	平塚市博物館	中央館 北館 南館
抹殺された大東亜戦争ー米軍占領下の検閲が歪めたものー	勝岡寛次著	明成社	2005 中央館
幻の終戦工作 ーピース・ファイターズ1945夏ー(文春新書 454)	竹内修司著	文藝春秋	2005 中央館 西館
陸の孤島インパールを攻略せよ	松崎之貞著	新人物往来社	2005 中央館
わが帝国海軍の興亡	阿部三郎著	光人社	2005 中央館 西館
忘れないあのこと、戦争 新装版 ー残しておきたいわたしの戦争体験ー	早乙女勝元撰 忘れないあのこと、戦争発刊委員会編	文芸社	2005 中央館 南館

一般図書 核

著者表示

出版年 館名

海のむこうのヒロシマ・ナガサキ
―韓国被爆者たちの歳月―

太田康男著

2005 中央館

カウンタダウン・ヒロシマ

ステイヴン・ウォーカー著
横山啓明訳

2005 中央館
北館

科学大国アメリカは原爆投下によって生まれた
―巨大プロジェクトで国を変えた男―

歌田明弘著

2005 中央館
西館

核を追う

吉田文彦著

朝日新聞社出版局

2005 中央館

核兵器事典

小都元著

新紀元社

2005 中央館

核兵器はいらない！―知っておきたい基礎知識―

沢田昭二著

新日本出版社

2005 中央館

核問題ハンドブック

和田長久編
原水爆禁止日本国民会議編

七ツ森書館

2005 中央館

原爆災害―ヒロシマ・ナガサキ―
(岩波現代文庫 学術 149)

広島市・長崎市原爆災害誌編集委員会編

岩波書店

2005 中央館

原爆投下の一瞬間を見た少年

松原一則著

文芸書房

2005 北館

15歳のナガサキ原爆(岩波ジュニア新書 416)

渡辺浩著

岩波書店

2002 中央館
西館

全核兵器消滅計画

中嶋彰著

講談社

2005 西館

1945年8月6日 新版 ーヒロシマは語りつづけるー(岩波ジュニア新書 156)	伊東壮著	岩波書店	1989 中央館 西館 南館
ナガサキ 新版 ー1945年8月9日ー(岩波ジュニア新書 260)	長崎総合科学大学平和文化研究所編	岩波書店	1995 中央館 北館 移動図
広島長崎修学旅行案内 新版 ー原爆の跡をたずねるー(岩波ジュニア新書 300)	松元寛著	岩波書店	1998 中央館 北館 西館 南館 移動図
マンガ版劣化ウラン弾ー人体・環境を破壊する核兵器！ー	白六郎著	合同出版	2004 中央館 北館
私の戦争(岩波ジュニア新書 479)	黒木和雄著	岩波書店	2004 中央館 南館
タイトル	著者表示	出版者	出版年 館名
置き去りーサハリン残留日本女性たちの六十年ー	吉武輝子著	海竜社	2005 中央館 西館
子どもたちの8月15日(岩波新書 新赤版 956)	岩波新書編集部編	岩波書店	2005 中央館 北館 南館

一般図書 他

自衛隊知られざる変容	朝日新聞「自衛隊50年」取材班著	朝日新聞社出版局	2005 中央館
市民が探る平塚空襲 証言編	平塚の空襲と戦災を記録する会編	平塚市博物館	1998 中央館 北館 西館
市民が探る平塚空襲 資料編 (二)	平塚の空襲と戦災を記録する会編	平塚市博物館	2004 中央館 西館 南館
従軍慰安婦にされた少女たち(岩波ジュニア新書 222)	石川逸子著	岩波書店	1993 中央館 北館 南館
昭和―戦争と天皇と三島由紀夫	保阪正康著	朝日新聞社出版局	2005 中央館
昭和二十年 第1部7 5月10日～5月25日 (昭和二十年 第1部7)	鳥居民著	草思社	2001 中央館
世界がさばく東京裁判 改訂版 ―85人の外国人識者が語る連合国批判―	明成社	明成社	2005 中央館 南館
石油と戦争―エネルギー地政学から読む国際政治―	中堂幸政著	現代書館	2006 中央館 西館
対米戦争開戦と官僚 ―意思決定システムの欠陥―(芙蓉選書ピクシス 3)	安井淳著	芙蓉書房出版	2006 中央館
太平洋戦争と上海のユダヤ難民	丸山直起著	法政大学出版局	2005 中央館
太平洋戦争における人種問題	クリストファー・ゾーン著 市川洋一訳	草思社	1991 中央館 西館

日本人なら知っておきたい「慰安婦問題」のからくり	阿部晃著	夏目書房	2005 中央館 西館
八月十五日の神話 —終戦記念日のメディア学—(ちくま新書 544)	佐藤卓己著	筑摩書房	2005 中央館 西館
ペルシヤ湾の軍艦旗—海上自衛隊掃海部隊の記録— もう、神風は吹かない—「特攻」の半世紀を追って—	碓義朗著 シュミット村木真寿美著	光人社 河出書房新社	2005 中央館 2005 南館

平和の本(児童図書)

児童図書 平和 著者表示

出版年 館名
2005 中央館
北館
西館

出版者
文研出版

汐文社

2005 中央館
北館

今井福子著 小林葉子画

歴史教育者協議会編

タイトル
止まったままの時計(文研じゅべにーる)

平和を求めた人びと(シリーズ憲法9条 第2巻)

児童図書 戦争 著者表示

出版年 館名
2005 中央館
西館
南館

出版者
岩波書店

美輪明宏著

美輪明宏著

タイトル
戦争と平和愛のメッセージ

児童図書 核 著者表示

出版年 館名
2005 中央館
北館
西館

出版者
ポプラ社

ポプラ社

2005 中央館
北館
西館

広島テレビ放送編

タイトル
いしぶみ 改訂新版
ー広島二中一年生全滅の記録ー

被爆者ー60年目のことば
ー(シリーズ・自然のちひと 7)

児童書 他

タイトル	著者表示	出版者	出版年	館名
消えた夏休み	富家知道(他)著	ウインかもがわ	2005	中央館
一年生のとき戦争が始まったーわれら国民学校奮戦記ー	信州智里東国民学校昭和21年度卒同級会 熊谷元一画 著	農山漁村文化協会	2005	中央館
うしろの正面だあれ アニメ版 ー長編アニメーション映画うしろの正面だあれよりー	海老名香葉子原著	金の星社	1991	中央館 西館 南館
うしろの正面だあれ 文学の扉 18(文学の扉 18)	海老名香葉子著	金の星社	1985	中央館 北館 西館 南館
ガラスのうさぎ アニメ版	高木敏子原著	金の星社	2005	中央館 北館 西館 南館
紅玉(課題図書 2006年 5・6年生)	後藤竜二著 高田三郎画	新日本出版社	2005	中央館 北館 西館 南館 移動図
心の国境(世界子ども平和図書館 4)	デボラ・オメル著 ヨナ・マフ画 母袋夏生訳	日本図書センター	2005	中央館
戦場の「ベビー！」ーターツちゃんとかカアの沖繩戦ー	三木健著	ニライ社	2005	中央館

戦争はなぜくり返される(平和と戦争の絵本 3)	石山久男著 石井勉画	大月書店	2003 中央館 南館
つるーサダコの願いー(世界子ども平和図書館 2)	エリナー・コア著 エド・ヤング画 こたまともこ訳	日本図書センター	2005 中央館 北館 南館
二十四の瞳	壺井栄著	光文社	2005 中央館
ヒロシマ、遺された九冊の日記帳	大野允子著	ポプラ社	2005 中央館 西館 南館
二つの祖国に生きる ーインドネシア残留日本兵乙戸昇物語ー(母と子でみる A 44)	長洋弘著	草の根出版会	2005 中央館
リトルボーイ	吉本直志郎著 中島潔画	ポプラ社	2005 中央館 西館
りんずの赤ずきんちゃん人形 上巻 ー小学校高学年～大人までの絵本ー1(戦争を語りつぐ 第 5集)	よしだりんず著	権歌書房	2005 中央館

平和の本(参考図書)

参考図書 平和

- タイトル
戦後の子ども史(ラポール双書)
特集展示 平和の本 目録 2005年版
平和メッセージ
—peace 戦争体験等を風化させない平和の大切さ、命の尊さを考える—
- 著者表示
中野光著
平塚市中央図書館編
- 出版者
金子書房
平塚市中央図書館
財団法人
神奈川県遺族会
- 出版年 館名
1988 中央館
2005 中央館
2006 中央館

参考図書 戦争

- タイトル
あの日あの頃
子どもたちの太平洋戦争
—国民学校の時代—(岩波新書 黄版 356)
- 著者表示
山中恒著
- 出版者
マニラ会
岩波書店
- 出版年 館名
1968 中央館
1986 中央館
南館
- 綾瀬市企画部企画課
企業政策担当編
- 平塚の空襲と戦災を記録する会編
- 綾瀬市企画部企画課
企業政策担当編
- 平塚市博物館

参考図書 核

- タイトル
核兵器事典
- 著者表示
小都元著
- 出版者
新紀元社
- 出版年 館名
2005 中央館

平塚市中央図書館	〒254-0041	浅間町12-41	TEL.0463(31)0415
北図書館	〒254-0013	田村3-12-5	TEL.0463(53)1232
西図書館	〒254-0911	山下760-3	TEL.0463(36)3555
南図書館	〒254-0813	袖ヶ浜20-1	TEL.0463(21)3080

核兵器廃絶平和都市宣言

わたくしたちのまち平塚は、過去に戦災を被り市域の多くを焼失した悲しい歴史をもつています。そして今のわたくしたちには、こうした惨禍をくり返すことのないよう、平和を守り次代へ引き継いでいく責務があります。

しかし、現在地球上には、数多くの核兵器が蓄えられ、人類に深刻な脅威を与えています。

世界の平和と安全は、すべての人の願いです。平塚市は、「国際平和の年」を迎えるにあたり、美しい地球と輝かしい未来を守るため、国是である非核三原則の順守とあらゆる核兵器の廃絶を願い、「核兵器廃絶平和都市」を宣言します

昭和六十年十二月二十日

平塚市

特集展示・平和の本 目録 2006年版

第1刷 平成18年7月発行

第2刷 平成19年7月発行

編集 平塚市中央図書館

発行 平塚市中央図書館

〒254-0041

神奈川県平塚市浅間町1-2-41

電話 0463-31-0415
